

2025年度 事業報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団は、ゴールドウインの創業者である西田東作の精神、すなわち、スポーツは人々に健康と健全な精神をもたらすものとして、また見知らぬ人達と仲間となり、国境や人権や言葉を越えて友人を作り、広く世界の人々と交わり親交を深める重要な役割を果たすものという考えを柱に、人々のより一層の健やかで楽しい暮らしを目指し、スポーツの振興に関する諸般の事業の推進を図り、もってすべての人がスポーツを等しく楽しめる社会の実現に寄与することを目的として2017年5月9日に設立され過去8年間は順調に公益事業を拡大してまいりました。

2025年度の財団運営に関しては、ゴールドウイン株の増配傾向が続く中で、持続可能な公益事業規模の拡大を図ると共に、助成3事業のバランス良い拡大を目指して、下記のような年間スケジュールのもと着実な財団運営を行ないました。11月に内閣府の立ち入り点検検査が実施された際には、財団事業に関してご理解を深めていただき、事業運営に関しての点検においては、特に指摘事項はありませんでした。今後も財団運営の透明性とガバナンスを高め、障がい者スポーツや次世代、地域社会に貢献できる財団運営を行ってまいります。

財団運営 スケジュール	2025年												2026年							
	2024年度			2025年度 第9期									2026年度							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
評議員会						★	前年度決算・事業内容承認													
内閣府報告						★	内閣府報告													
内閣府立入検査													★内閣府立ち入り検査							
理事会 第1回						★ 前年度決算承認・今年度事業計画														
第2回						★ GW株議決権行使														
第3回													★補正予算承認							
第4回																★助成明細承認				
第5回			★新年度事業計画													★次年度事業計画				
共生スポーツ協議会							★			★			★			★				
贈呈式						★ 贈呈式														

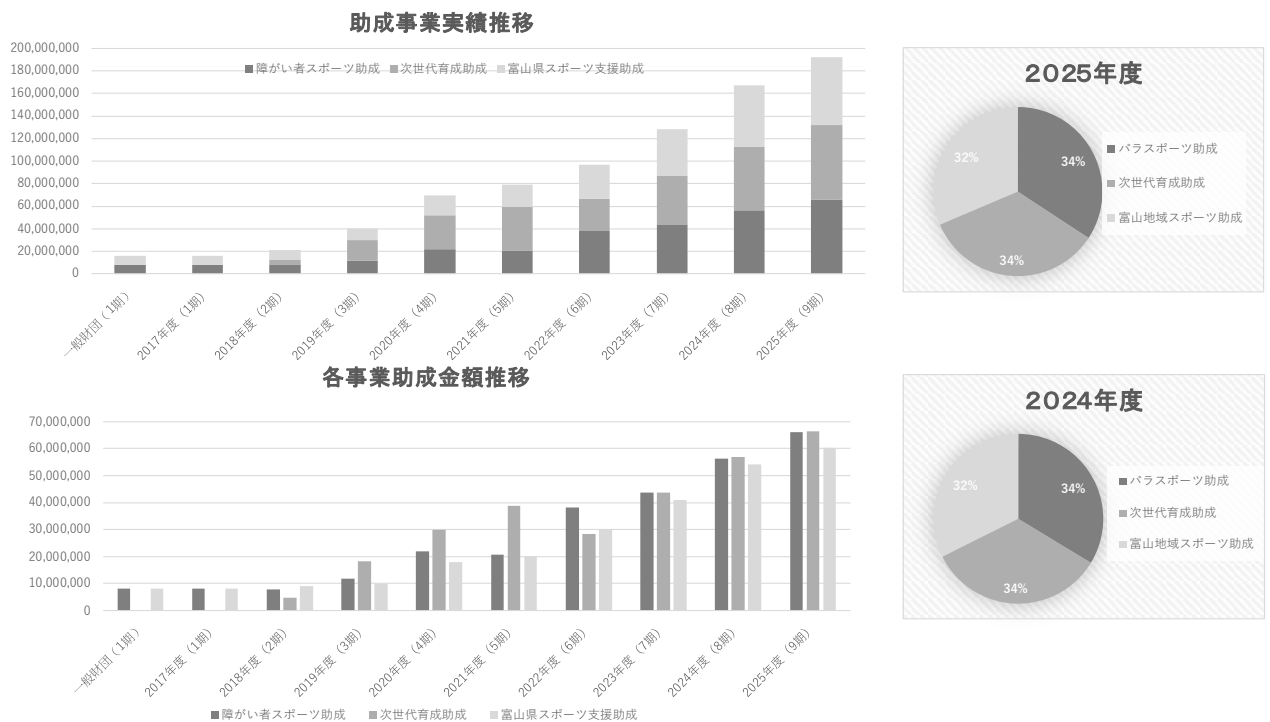
助成事業 スケジュール	2025年					2026年										2027年						
	2025年度 第9期 助成事業																					
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
助成予算確認		★																				
競技団体説明		←	→																			
募集要項開示			★																			
募集期間				←	→																	
選考委員選考期間					←	→																
選考委員会							★	★	★													
書面理事会で決定								★														
支払い									★													
活動																						
報告書提出																						★

1、公益事業（1）助成事業に関する事業報告

2025年度の助成事業の実績と前年比（2026年3月支給）は、下表のとおりです。

助成事業名	助成件数（件）		助成金額（千円）	
（1）障がい者スポーツ支援事業	77	132%	66,080	117%
（2）次世代育成事業	105	122%	66,310	116%
（3）富山県スポーツ振興事業	44	97%	60,180	111%
合計	226	119%	192,570	115%

助成3事業は、いずれも2桁増の助成金額となり、3事業のバランスも昨年同様ほぼ均等となり計画通りの結果となりました。また、過去10回の助成金額も下図のように右肩上がりで順調な推移となっております。



（1）障がい者スポーツ支援事業

障がい者スポーツ支援事業では、数年来の情報発信と助成実績の結果、パラスポーツ界での財団助成の認知拡大が見られ、前年比115%の申請をいただき、厳正な選考を経て、助成件数で前年比132%、金額は前年比117%の合計66,080千円の助成をいたしました。過去3年間の助成申請並びに助成実績については以下の通りです。

金額単位：千円

	予算額	申請件数	申請金額	助成件数	助成金額
2023年度	40,000	52	54,079	40	43,632
2024年度	50,000	84	84,814	58	56,422
2025年度	65,000	112	97,472	77	66,080
前年比	130%	133%	115%	132%	117%

(2) 次世代育成事業

次世代育成事業では、前年に続き予算規模を拡大して臨みましたが個人からの申請、特にテニスやゴルフが大幅に増加して申請金額は前年比 122%となり、選考委員会での選考の結果、助成件数は前年比 122%、金額は前年比 116%の合計 66,310 千円を助成し、他事業とのバランスも昨年同様に維持することが出来ました。過去 3 年間の助成申請並びに助成実績については以下の通りです。

金額単位：千円

	予算額	申請件数	申請金額	助成件数	助成金額
2023 年度	35,000	107	67,806	72	43,682
2024 年度	50,000	117	81,627	86	56,854
2025 年度	65,000	149	99,902	105	66,310
前期比	130%	127%	122%	122%	116%

(3) 富山県スポーツ振興事業

富山県スポーツ振興事業については、富山県スポーツ協会の協力を得て、競技団体への説明会と、総合型地域スポーツクラブへの説明会を分けて実施するなど丁寧な説明を図りましたが、申請件数、申請金額ともに前年を下回る結果となり今後の課題が浮き彫りとなりました。この課題を県スポーツ協会とも共有し、次年度以降の募集要項の改訂を検討してまいります。なお助成については選考委員会で厳正な審査をいただいた結果、助成金額では前年比 111%の 60,180 千円の助成をいたしました。

過去 3 年間の助成申請並びに助成実績については以下の通りです。

金額単位：千円

	予算額	申請件数	申請金額	助成件数	助成金額
2023 年度	40,000	39	57,284	37	40,962
2024 年度	50,000	45	73,467	45	54,220
2025 年度	60,000	44	69,619	44	60,180
前期比	120%	97%	95%	97%	111%

(4) (1) ～ (3) 助成事業共通

① スケジュール

- ・募集期間 (2025 年 11 月 4 日～2025 年 12 月 10 日)
- ・選考期間 (2025 年 12 月 11 日～2026 年 2 月 4 日)
- ・決定日 (2026 年 2 月 27 日)
- ・支給日 (2026 年 3 月 31 日)

② 広報活動

支援を必要とされている方に当財団の活動を認知いただけるよう、当財団のホーム

ページにて財団の概要や募集要項を掲載するとともに、6月7日に行いました贈呈式の内容をプレスリリースし、新聞2紙と、オンラインメディア56件の掲載をいただきました。

2. 公益事業（2）講演・体験会事業に関する事業報告

今年度の公益事業（2）講演・体験会事業につきましては、以下の通り3回の体験会を開催することが出来ました。詳細は別紙報告書をご参照ください。

- ① 2025年4月27日 石川県加賀市体育館
能登半島地震復興支援車いすラグビーチャリティマッチ 約100名参加
- ② 2025年10月23日 富山県滑川市 田中小学校
車いすラグビー体験会 小学校4年生 41名参加
- ③ 2026年1月20日 富山県滑川市 東加積小学校
車いすバスケットボール体験会 小学校4.～6年生 21名参加

当財団は共生スポーツ社会の実現を目指して、パラスポーツの体験会を開催するにあたり、事前にJPCが無償公開している「I' mPOSSIBLE」の教材を使用して「共生社会」に関する学びの授業を行っています。子供たちは公平や公正、共生の理念などを座学として学んだ後に、パラスポーツを体験することにより、障がいの有無に関わらず誰もがパラスポーツを楽しめる体験をすることで、共生の意味を体感し理解を深めることが出来、実施した学校の校長先生からも高く評価をいただいております。

3. 定時理事会・定時評議員会・助成金選考委員会のご報告

（1）第1回定時理事会

日程：2025年5月29日（木）

場所：ANAクラウンプラザホテル富山「白鷺の間」

- 議案：第1号議案 2024年度（第8期）事業報告書の件
第2号議案 2024年度（第8期）計算書類の件
第3号議案 役員候補者選任の件
第4号議案 評議員候補者選任の件
第5号議案 選考委員候補者選任の件
第6号議案 評議員会招集の件
第7号議案 2025年度能登半島地震支援について

（2）第1回定時評議員会（決議の省略）

日程：2025年6月16日（月）

- 議案：第1号議案 2024年度（第8期）事業報告書の件
第2号議案 2024年度（第8期）計算書類の件

第3号議案 役員選任の件

第4号議案 評議員選任の件

なお、同年6月10日に評議員事前説明会を実施し、決議事項の説明を行った

(3) 2024年度助成金贈呈式

日程：2025年6月7日（土）

場所：東京ステーションホテル「鳳凰の間」

出席者：7団体8名出席、個人2名（ビデオレター）、オンライン出席98名

講演者：松尾哲矢氏 立教大学スポーツウェルネス学部 教授

(4) 第2回理事会（決議の省略）

日程：2025年6月20日（金）

議案：第1号議案 代表理事（理事長）の選任の件

第2号議案 株式会社ゴールドウイン第74回定時株主総会
決議事項の議決権行使の件

(5) 第3回定時理事会

日時：2025年9月25日（木）

場所：ゴルフ倶楽部ゴールドウイン 2階ロイヤルサロン

議案：第1号議案 2025年度（第9期）補正予算の件

(6) 2025年度助成金選考委員会（富山県スポーツ振興事業）

日時：2026年1月27日（月）

場所：ANAクラウンプラザホテル富山「白鷺の間」

議題：2025年度助成金事業の選考

(7) 2025年度助成金選考委員会（障がい者スポーツ支援事業・次世代育成事業）

日時：2026年2月4日（水）

場所：東京ステーションホテル「鳳凰の間」

議題：2025年度助成金事業の選考

(8) 第4回理事会（決議の省略）

日程：2026年2月27日（金）

議案：第1号議案 2025年度（第9期）助成金支給の件

(9) 第5回定時理事会

日時：2026年3月17日（火）

場所：ダブルツリーホテル富山 3階会議室

議案：第1号議案 2025年度通期見通しと財務3基準判定の件

第2号議案 使途不特定財産の抵触額に対する公益充実資金並びに
特定費用準備資金の積立ての件

第3号議案 2026年度（第10期）事業計画および収支予算の件

第4号議案 資金調達および設備投資見込みの件

第5号議案 事務局長雇用契約更新の件

4. 富山県共生スポーツ協議会に関する報告

富山県におけるスポーツ関係者が一堂に会して、学校部活動の地域展開や、総合型地域スポーツクラブの実態、そして障がい者のスポーツ活動状況などを含めて、富山県における課題の共有と、共生スポーツ社会の実現に向けた勉強会「富山県共生スポーツ協議会」は3年目の最終年度を迎え調査研究などを実施いたしました。

第1回 2025年7月10日

5月に開示された部活動の地域展開に関するスポーツ庁実行会議の最終報告の詳細情報を共有するとともに、富山県の令和7年度の部活動地域展開の実証事業の方針を確認した。また、部活動地域展開の受け皿となる総合型スポーツクラブ全60施設に対する実態調査を行うこととし、その概要を座長より共有し意見交換を実施。

第2回 2025年9月8日

部活動の地域展開に関するスポーツ庁の令和8年度以降のガイドラインの骨子が判明した中で、運営団体や実施主体に対する認定制度と、受益者負担に関する国の検討状況の情報を共有。また、新たな調査として、学校部活動の顧問教員に対するアンケート調査を実施することとし、その概要とアンケート内容を確認、検討した。また、部活動地域展開における受益者負担の軽減が、地域社会へどのようなインパクトを与えるかを可視化する手段として、インパクトパス（案）を示し、参加者の意見交換を実施。

第3回 2025年12月19日

富山県障がい者スポーツ協会の事務局長より、富山県における障がい者スポーツの現状と課題について報告があり、10月に実施された滑川市田中小学校における車いすラグビーの体験会の内容を共有し、目指すべき共生スポーツ社会実現に向けて生徒への指導教育について情報交換を実施。また第2回に提案された部活動顧問教員に対するアンケートの速報値が報告され、地域展開における教員の意識も明らかになった。

第4回 2026年3月17日

2025年12月21日に、スポーツ庁から部活動地域展開の令和8年度以降のガイドラインが開示され、その詳細内容について情報共有を実施。また、第1回に提案された総合型地域スポーツクラブへのアンケート調査の速報集計内容を共有。また、座長から過去3年間で実施した5つの意識・実態調査結果を踏まえた総合報告の概要を説明。最後に3年間の共生スポーツ協議会に対しての意見を述べて3年間の協議会を終了。

富山県共生スポーツ協議会は、当初最長3年間で終了する予定で、調査研究の総合報告なども作成したが、部活動地域展開に関するスポーツ庁のガイドラインの発表が12月にずれ込み、それに伴って富山県のガイドライン作成が令和8年7月までずれ込む見通しとなったため、富山県共生スポーツ協議会は、新たに共生スポーツ協議会2.0としてあと3年間継続することといたしました。

5、公益事業のインパクト評価の件

今年度事業として当財団の公益事業の社会的インパクトを可視化し、今後の広報活動のためのエビデンスづくりを行うため、5,000千円の予算をご承認いただきました。そのインパクト評価について、先ずは富山県の「部活動地域展開事業のインパクトパス」を作成し、今後のスポーツ県政における共通の成果目標として、富山県共生スポーツ協議会参加者にご活用いただけるよう開示いたしました。協議会参加者からはインパクトパスの有益性には賛同いただいたが、それを活用するには更に理解を深め、可視化の具体化を求めご意見をいただきました。今年度の事業では、インパクトパスは作成出来たものの、社会的インパクトを図るKPIを絞り込むまでに至らず、インパクトを数値化して可視化するには、更なる検討が必要であることが課題として残りました。

については、富山県の部活動地域展開への支援事業を含む、財団の公益事業全般に関するインパクトパスの作成と、社会的インパクトの可視化を具現化させるため、2026年度の10周年記念事業として当該事業を継続させていただくことといたしました。

6、その他の財団事業に関する報告

- (1) 2023年度より助成金支給者インタビューページを開設いたしましたが、2025年度は以下1名の助成者紹介を追加するに留まりました。次年度は財団10周年にもあたり助成事例を通じて財団活動への理解を深めていただくと同時に認知拡大を目的として更なるホームページ更新を積極的に行います。

- ① 次世代育成支援 テニス 沢代 榎音さん

- (2) 2024年1月1日に発生した能登半島地震に関する被災地支援として2024年3月に特定費用準備資金として積立てた「令和6年能登半島地震スポーツ支援積立金」に関して、2025年度においては以下の通り支援を実施いたしました。これにより過去2年間の取り崩し額の合計は、20,261,836円となり、当該特定費用準備資金の残高は、9,738,164円となっております。

石川県スポーツ協会	10,000,000円
富山県スポーツ協会	140,290円
合計	10,140,290円

なお、支援金の用途については、いずれの県においても、被災した体育館や運動施設が使用出来ない方々が、遠隔地においてスポーツを実施するための施設利用料、移動に伴う交通費や宿泊費などに充てられております。

以上

事業報告書 附属明細書

2025年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

2026年5月

公益財団法人 ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団